



シルバー人材センター通信

平成23年

第21号

1月25日発行

みなみえちぜん



書：安川悦子

発行：(社)南越前町シルバー人材センター
編集：(社)南越前町シルバー人材センター広報委員会
住所：福井県南条郡南越前町今庄第84号24番地の1
TEL.0778-45-1102 FAX.0778-45-1851

E-mail : minamiechizen@sjc.ne.jp URL : <http://www.sjc.ne.jp/minamiechizen/>

会員の状況【12月末現在】

総会員数 306名

男性会員 146名

女性会員 160名



新年のごあいさつ

理事長 嶋崎 洋

あけましておめでとうございます。会員の皆様には、ご健勝にて輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は、当シルバー人材センターの事業運営に多大のご支援、ご協力を頂きありがとうございます。

さて、昨年は景気の低迷が依然として続き国内外ともに非常に不安定な年でありました。又、政権交代による行政刷新会議の「事業仕分け」においてシルバー人材センター援助事業の補助金が削減され厳しい事業運営を強いられました。更に今年も補助金の削減が予想され一段と厳しい状況となつてきておりま



新年のご挨拶

南越前町長 川野順万

あけましておめでとうございます。皆様方には、輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

私が町政を担わせて戴き、早や二年が経過致しました。この間、各種事業を始め、町政全般にわたり温かいご支援とご協力を賜りましたこと、衷心より厚く御礼を申し上げます。本年も私の公約である「五つのまちづくり」の推進を始め、地方自治が抱える課題の解決や活力と魅力あるまちづくりに、引き続き全力で取り組んで参りたいと考えています。

さて、本町の高齢化率は三十パーセントに迫り、今後一層の

す。今後「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき会員、役員が知恵を出し合つて昨年新たに取り組みました企画提案方式による一、「健康教室」「料理教室」「歌唱教室」を内容とする介護事業二、「竹炭体験」「伝承遊び」「伝承技術」を内容とする教育事業三、「ゴミ出し支援」「不法投棄巡視事業」「耕作放棄地対策」を内容とする環境事業四、「子育てセンサスを図る中で今年には更に充実した内容で積極的に推進していきたいと思つております。皆様方の参加とご支援、ご協力をお願いいたします。福祉の受け手から地域の担い手となることを理念に地域社会から期待されるシルバー人材センターとして役割を果たすためには会員が長年に亘つて培ってきた知識、技能を発揮することによって地域の人達に喜ばれると共に活性化に繋がると確信しております。今年も安全就業第一に元気で活躍されますようお祈り申し上げ新年のごあいさつと致します。

高齢化が進むと見られています。高齢者の元気づくりは福祉施策の柱であり、活躍できる場の提供や社会参加の促進を図るシルバー人材センターの役割は一層重要になると考えます。このような中、シルバー人材センターでは、子ども一時預かりの家「おんぶ」の開所がなされるなど、行政と連携で企画提案方式による新たな事業開拓に積極的に取り組まれています。「福祉の受け手から地域の支え手」としての様々な社会参加活動を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現、地域福祉の向上に向けた取り組みに今後も期待をしています。

町としても、引き続き町民の皆様のご理解とご協力を戴きながら一層の福祉の向上に努めて参ります。新年にあたりシルバー人材センターの益々のご発展と皆様方にとりまして幸多き年になりますことを心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

- 理事長 嶋崎 洋
- 副理事長 上島 信敬
- 理事 事 勝見 勝彦
- 理事 事 杉本 佳子
- 理事 事 寺尾 達雄
- 理事 事 堂下富美子
- 理事 事 中野 利雄
- 理事 事 橋本 登龍
- 理事 事 藤井彦四郎
- 行政担当理事 山寺 幸雄
- 監 事 坂本 和彦
- 監 事 安川清太郎
- 常務理事兼事務局長 山口 俊夫
- 井上 英之
- 事務局職員 海岸 満
- 関 洋子
- 山本 和美

本年も何とぞよろしく
お願いいたします



企画提案型事業

子ども一時預かりの家“おんぶ”開設状況！

「子ども一時預かりの家“おんぶ”」が11月1日にオープンしてから3ヶ月が過ぎようとしています。当初予定していた人数よりたくさんの方々が1日、2時間から11時間とそれぞれの都合に応じて利用されています。このサービスを利用することで「自分らしい生き方」を見つけていただければと考えています。どうぞ気軽においでください。お待ちしております。

“おんぶ”利用者の声

前からこんな託児所があるといいなと思っていました。子どもも思ったより泣かなくて喜んで遊んでいるので安心してたびたび利用しています。

1才児の母 前田千花



会員保育士4名とサポーター（保育補助）として10名の会員が、子育てグループとして活躍しています。



サポーターとして

“おんぶ”のサポーターとして楽しく子守りをさせていただきます。

オムツの替え方もミルクも離乳食も昔とは変わっていて勉強の毎日ですが、子どもさんはとても可愛くこの仕事が私の生きがいにもなっています。

会員 松浦喜子



小倉谷の慈眼寺さんには豆の木の大木で作られたという大きなつき白があります。それにはこんな話が残されています。

今から千二百年ほど昔のこと。天台宗月叟寺（慈眼寺の塔頭）を建てた人に谷口権平という人がいました。この人の後妻、たやは生まれつき邪険な女で継子をひどくいじめていました。初春のある日。たやは実の子に生豆を、継子にはいり豆を持たせて山畑へ豆まきにやりました。継子はふだん、継母を大切にする親孝行者でしたが、たやはこの継子がにくくてしかたがなかったのです。

ところが四月八日の朝になると、生えるはずのない、いり豆をまいた継子の打った畑に一本の豆の大木が一晩のうちに育ってきたのです。

それから二本の枝は、西東に分かれてずんずんのびていきました。その年の秋には東の枝に七石、西の枝に八石、あわせて十五石の豆がなったということです。

さしにも邪険な継母も、「ああ、不思議やな。これはきっと仏神のおいさめにちがいない」と、ついに改心してそれからは実のわが子とわけへだてなく、かわいがって継子を育てたということです。

継母はこの豆の木の根もとでつき白を作り、枝からは太鼓の胴を作った江州（滋賀県）伊香郡の寒山寺に納め、つき白は月叟寺の宝物として保存されてきたということです。

「宅良の里」より抜粋



豆がら白の伝説



新入会員のご紹介

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 脇本 西邑るり子さん | 脇本 丸岡 英子さん | 脇本 野崎 正子さん | 今庄 森川 修子さん | 今庄 窪田 和子さん | 湯尾 川端てる子さん | 湯尾 毛利田秀子さん | 上野 澤崎 啓子さん | 湯尾 川端 由美さん | 東大道 松浦 喜子さん | 清水 高木美智子さん | 上野 田島 義美さん | 上野 井上 一枝さん | 上野 代継とし子さん | 上野 内藤恵美子さん | 赤萩 橋爪 健一さん | 湯尾 谷口 宗義さん | 牧谷 宇野 和枝さん | 以上 18名の皆さん |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
- 〔七月から二月までの加入者〕
 よろしくお願ひ
 いたします。



門松づくり委員会

新しい年の始めにふさわしく南越前町役場・今庄総合事務所・河野総合事務所に門松を製作しました。

◎南越前町役場・今庄総合事務所は、関俊彦さん、四ツ木善一さん、前川芳雄さん

◎河野総合事務所は、藤井彦四郎さん、向山功さん、向瀬義則さんの皆さんです。

お知らせ

INFORMATION

シルバーのつどい

「笑って、歌って、楽しもう」の開催について

新しく取り組みを始めた、企画提案型事業で「介護予防」に取り組んでおります。この事に関連して次の要領で集いを開催しますので、お友達をお誘いの上ご参加ください。

(会員以外の方でも参加可能です)

開催日時

二月一五日(火) 午前二〇時より

開催場所

南条保健福祉センター多目的ホール

行事内容

- みんなで楽しく、唱歌・軽い運動会(ゲーム)
- みんなで楽しく、お昼にしましょう

(手作りお弁当を楽しめます)

今庄地区・河野地区はバスを準備します。

急募

杉津パーキングエリア清掃業務者を募集中です。ご希望の方はシルバー人材センターまでご連絡ください。

TEL 45-1102

理事会報告

開催日 平成二十二年二月二十六日

審議事項

- ①新入会員の入会承認について
- ②平成二二年度予算の補正について
- ③平成二二年度当初予算について
- ④公益社団法人移行手続きについて
- ⑤正会員の月別会費について

報告事項

- ①一二月末事業実績について
- ②委員会報告 広報委員会
- ③企画提案型事業の進捗について
- ④県の実地検査報告について
- ⑤その他

今回の理事会では、公益社団法人への移行手続き、平成二二年度当初予算の承認が中心となりました。法人移行については県下のセンターと同一提出となり四月認可をめざしています。

新年度予算については、会員の就業機会の確保と、高齢化が進行する中で地域の発展に寄与できるよう、会員相互の知恵と今まで培ってきた経験を基に、より積極的な展開を図ろうとしています。会員の年会費が二、〇〇〇円となり月割鞍分に端数が生じるため、月額を明確にいたしました。新体制となつて二年目の締めくくりの年、経済状況に厳しいものがありますが、共に手を取り合い一歩ずつ前進いたしました。

編集後記

あけまして

おめでとうございます

昨年、2010年の世相を表す「今年の漢字」が『暑』に決まったと漢字協会が発表しました。京都・清水寺の森清範貫主の揮毫によりこの時期に行われている行事で、昨夏の猛暑で熱中症にかかる人が続出したことなどが主な理由と思われませんが、社会の様々な事象を捉えて見ても、本当に「篤い、熱い」一年だったと思います。

さて、昨年発行した人材センター通信『みなみえちぜん』の各号を振り返ってみると、第17号では、人材センターの果たす役割に「元気で長生き」と期待を込めた川野町長の新年の挨拶、第18号では、新規事業の取り組みをテーマに開かれた地区懇談会の報告、第19号では、第6回通常総会の報告、そして第20号では、企画提案型事業の紹介等。その他の連載記事「ふるさとばなし」やセンターの活動状況、皆さんからの投稿など、皆さんとセンターとの交流に役立つ「通信」を創ることが、企画・編集に関わる私たちの使命であると思います。

今年も卯年です、びよんびよん飛躍の年です。さあ、頑張るぞ！今年も

広報委員 板本忠士

